



羅臼町議会だより



しれとこ

第2回臨時議会	2～3
決算認定報告	4～6
行政の考えを問う（一般質問）	7～9

平成26年

第**140**号

1月25日



1月4日 羅臼消防団出初式より

火災ゼロを
願って
いざ出陣!!

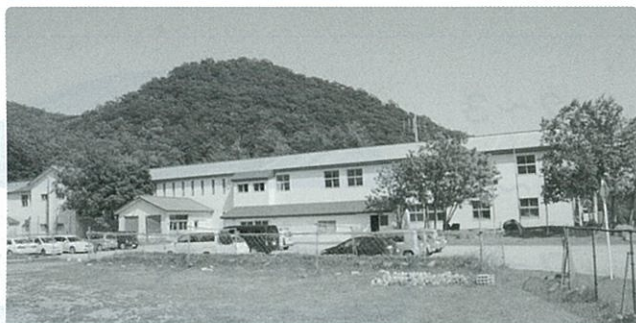
平成25年 第4回定例議会

去る11月18日、第2回臨時議会、12月12日、第4回定例議会が行われ、予算・条例とも原案通り全件可決した。

第2回臨時議会

中学校の建設に要する経費

682万円



第4回定例議会

平成25年度目梨郡羅臼町一般会計補正予算

627万円減額

総額 34億7,995万円

総務費	庁舎管理に要する経費	35万円
	その他一般行政に要する経費	△181万円
民生費	住民参加型高齢者生活支援に要する経費	240万円
	特別会計繰出金に要する経費	△83万円
	後期高齢者医療費負担金	△682万円
衛生費	葬斎場・霊園管理運営に要する経費	26万円
	特別会計繰出金に要する経費	13万円
土木費	土木行政に要する経費	5万円
合 計		△627万円

平成25年度目梨郡羅臼町国民健康保険事業特別会計補正予算

1,296万円追加

総額 11億3,365万円

保険給付費	退職被保険者等医療給付	162万円
	一般被保険者高額医療費	1,034万円
介護納付金	介護納付金	67万円
諸支出金	一般被保険者保険税還付金	33万円
合 計		1,296万円

平成25年度目梨郡羅臼町介護保険事業特別会計補正予算

216万円追加

総額 **4億7,271万円**

保険給付費	介護予防サービス等給付に要する経費	196万円
	介護予防福祉用具購入に要する経費	3万円
	介護予防住宅改修に要する経費	17万円
合 計		216万円

平成25年度目梨郡羅臼町後期高齢者医療事業特別会計補正予算

145万円追加

総額 **5,785万円**

後期高齢者医療広域連合納付金	後期高齢者医療広域連合納付金	145万円
合 計		145万円

平成25年度目梨郡羅臼町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算

1,417万円減額

総額 **1億4,661万円**

総務費	医療再生に要する経費	△1,417万円
合 計		△1,417万円

議員
発議

- ・ 森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に関する意見書
- ・ 利用者本位の持続可能な介護保険制度の確立を求める意見書
- ・ 二〇一四年度地方財政の確立を求める意見書

人事
案件

- ・ 羅臼町教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて 田 中 紅美子
- ・ 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて 中 陳 美 鈴

条例
改正

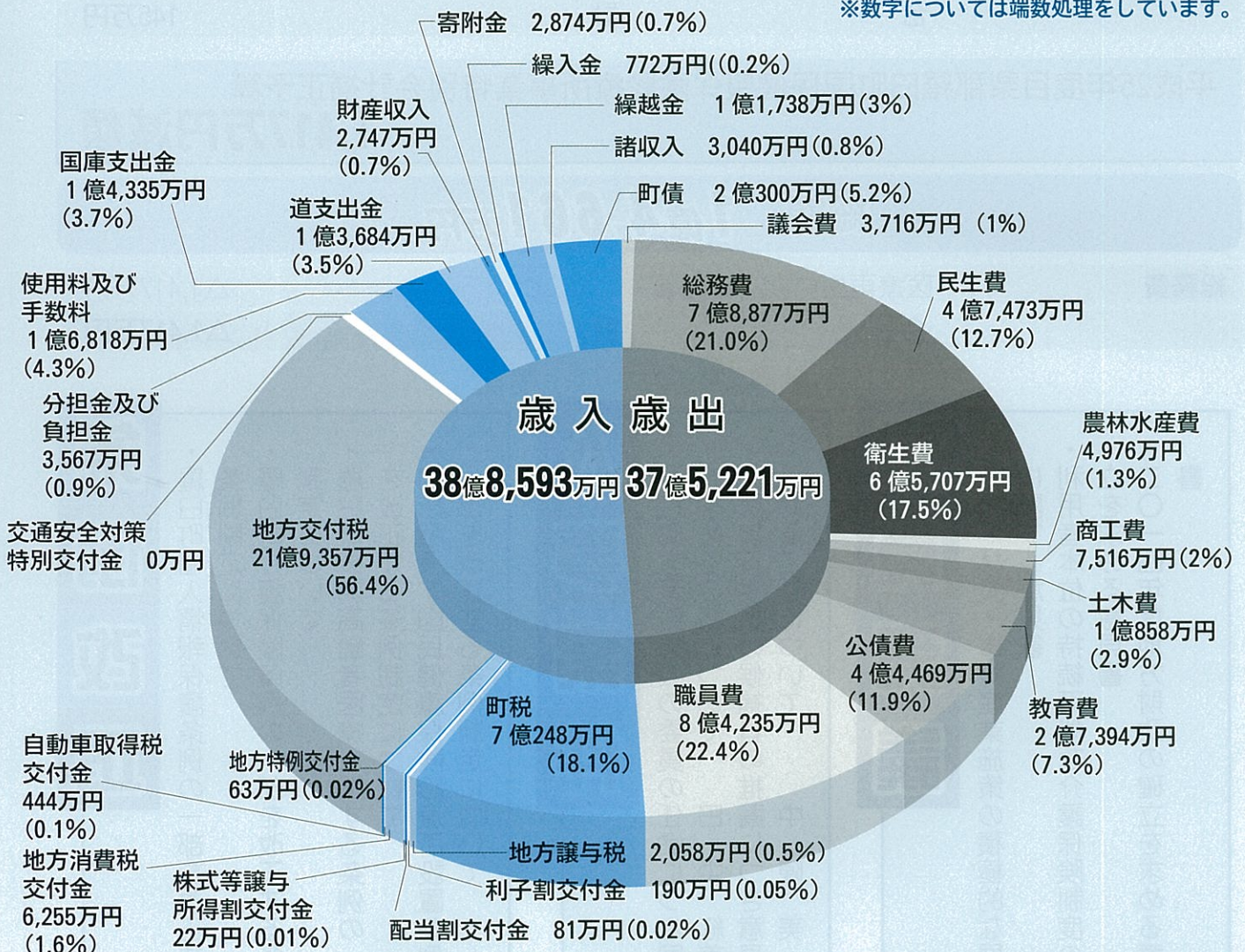
- ・ 羅臼町個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について
- ・ 羅臼町介護保険条例の一部を改正する条例制定について
- ・ 羅臼町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・ 知床らうす国民健康保険診療所設置条例の一部を改正する条例制定について

町の財政は どうなっているの？

平成24年度羅臼町各会計 決算特別委員会報告



※数字については端数処理をしています。



(歳入) 38億8,593万円 - (歳出) 37億5,221万円 = (差引) 1億3,372万円

歳入

歳入総額 38億8,593万円

私たちが納めた税金は、全体の18.1%です



(町に入ってくるお金です)

町税	7億248万円	町民の皆さんからの税金
地方譲与税	2,058万円	自動車重量税等、国税から町への配分
利子割交付金	190万円	預金利子に係る税の交付金
配当割交付金	81万円	株式等の配当に対する道税からの配分
株式等譲与所得割交付金	22万円	株式等の譲渡益に対する道税からの配分
地方消費税交付金	6,255万円	国から町に交付される消費税
自動車取得税交付金	444万円	自動車取得税の交付金
地方特例交付金	63万円	国の減税により町の収入不足を補うための交付金
地方交付税	21億9,357万円	国から配分される税金
交通安全対策特別交付金	0万円	交通安全対策のための交付金
分担金及び負担金	3,567万円	幼稚園や福祉施設などの利用者の負担金
使用料及び手数料	1億6,818万円	町営住宅使用料や戸籍等の証明手数料
国庫支出金	1億4,335万円	国からの補助金や負担金
道支出金	1億3,684万円	道からの補助金や負担金
財産収入	2,747万円	町有財産の賃貸料や預金利息
寄附金	2,874万円	町民の皆さんや多くの方々からの寄附金
繰入金	772万円	町の貯金(基金)からの繰入金
繰越金	1億1,738万円	前年度から持ち越したお金
諸収入	3,040万円	その他の収入
町債	2億300万円	地方交付税の削減分の一部を借りたお金や建設事業を実施するための借金

歳出

歳出総額 37億5,221万円

(町のために使われたお金です)

議会費	3,716万円	議員の報酬や議会活動のための経費
総務費	7億8,877万円	町の財産管理や消防署を運営するための経費
民生費	4億7,473万円	高齢者や身体障がい者等の福祉などの経費
衛生費	6億5,707万円	保健、合併浄化槽、ゴミ等の環境対策の経費
農林水産費	4,976万円	農林・水産業の振興や深層水活用等の経費
商工費	7,516万円	商工業・観光振興や世界自然遺産の保護管理等の経費
土木費	1億858万円	道路整備、維持補修や除雪等の経費
教育費	2億7,394万円	小中学校や幼稚園、社会教育、体育館事業等の経費
公債費	4億4,469万円	事業を行うために借りたお金の償還金
職員費	8億4,235万円	職員の人件費

決算特別委員会（平成二十四年度）総括質疑事項

町は随意契約の見直し及び適正を図るため、昨年の十二月に「随意契約ガイドライン」を作成し、二十五年度より実施しているが、決算の委託料の中に一社随意契約で予算額が契約額と違った契約が多く見受けられる。

経費節減の観点から委託料の予算額（予定価格）の積算根拠をお伺いする。

高村 和史委員

町長

一社随意契約が多い要因として、主に施設管理に伴う保守点検は、条件として資格者を有する業者や機械等のメンテナンスを当初から委託していることから経験や経費の面から一社随意契約とせざるをえない場合があることは事実です。

今後、契約ごとの内容、性質、あるいは経済性・緊

急性等を総合的に検証し、運用してまいります。

公民館図書室の貸出冊数が年々減少しているが、生活文化及び子どもの教育向上を図るため、毎年の図書購入が必要と考える。今後の図書購入計画等についてお伺いする。

佐藤 晶委員

町長

図書室における図書の利用パターンの分析や古い資料の整理などを行いながら今後とも、道立図書館などの関連機関のサポートを模索しながら、児童書・一般書・専門書等のバランスを十分に勘案した資料整備を進め、利用機会の拡大につなげていきたいと考えます。

平成二十四年度の国保税の収納率は、前年との比較

で大幅に改善されており関係部門・関係職員の努力の成果がうかがえる。しかしながら税の公平性及び国保財政の健全化を考えた時、一層の対応策を講ずるべきと考えますので、今後の取り組みについてお伺いする。

高村 和史委員

町長

収納対策については、これまでいろいろな方策を講じてきた結果、収納率の向上につながってきていると考えていますが、今後ともこれらを継続していくことが重要と考えております。又、使用料についても、税務財政課と担当課が連携し、収入の確保に取り組んでいます。

水道会計事業決算書では有収水量率が五十一・三％と報告されています。これは四十八％弱の大量の水が無駄になっていることを示しており、早急な改善が必要である。

有収水量率を上げるための今後の施策についてお伺いする。

高村 和史委員

町長

現在、漏水調査を実施し本管や給水管の漏水を発見し、修理をしています。しかしながら現在把握している漏水は、老朽管が民地内で更に住宅の軒下への埋設が多く、安易に工事ができない状況にあります。現在の状況では技術的にも早急な改善は難しく、地道に漏水の修理を継続し対応してまいります。

決算特別委員会報告

羅臼町の財政構造は地方交付税への依存度が非常に高く、財政基盤が弱く町の各施策を支える財政運営は極めて厳しい中で進められています。

この様な状況の中、平成二十四年度決算は自治体健全化法の各基準をクリアしており、理事者・職員の努

力に敬意を表します。又、自主財源である町税及び使用料等については二年連続で収入額・収納率ともに前年を上回っており担当部門・職員の努力の結果であります。

特に滞納整理に当たっては強権力と裁量権の濫用に配慮し、引き続き尽力されるよう期待するものです。地方自治体を取り巻く環境は、大変厳しい状況にあります。最大限の経費で最大の効果を得られるよう不断の努力を望むところであります。

最後に、理事者・職員の皆様に対し、本決算審査の円滑な運営にご協力いただいた事にお礼を申し上げます。平成二十四年度羅臼町各会計歳入歳出決算六件について、本委員会は、全員一致で認定すべきものと決定しましたので報告いたします。

平成二十五年十二月十二日
羅臼町各会計決算特別委員会
委員長 坂本 志郎

行政の考えを問う

第4回定例議会・一般質問

高村 和史議員



観光産業と地場産業の構築、次世代に繋げる政治判断が急務である

高村議員

町長 地域産業の発展、雇用機会の拡充、地域の活性化の効果

質問

(一)二〇二〇年に、オリンピック

ク東京開催が決定し、国内外に「知床世界自然遺産」をPRする最高の好機と考える。観光、地場産業（水産）、北方領土等、又、教育の視点からも積極的にPRし、世界

各国の「オリンピック」関係者の方々も、羅臼を利用して頂く様な誘致を関係団体に働きかけ、各施設の対応度も検討し、誘致可能な部分も的確に把握し、観光と地場産業等を含め総合的に判断しなければならぬと考えるが、誘致に向けた取り組みの考え方を示して下さい。

脇町長

の三本柱を基本としている。我が町も、道の「観光のくにづくり行動計画」と協働して取り組むべきである。町長の考えをお示し下さい。

高村議員のその他の質問

観光産業関連質問

- 一、観光産業と地場産業の町民の意識調査（町民アンケート）の実施
- 一、鮮魚保管冷凍施設の必要性
- 一、水産物鮮度保持施設（昆布倉庫）の協力体制の必要性

(二)羅臼町の将来を見据えた観光計画は、漁業、宿泊、運輸、サービス業、製造業、水産加工業者等、幅広い産業も取り入れ、観光は羅臼経済を牽引する総合的産業として取り組まなければならないと認識する。町長の考え方と今後の観光行政の方向性を示して下さい。

羅臼町の将来を見据えた観光計画は、漁業、宿泊、運輸、サービス業、製造業、水産加工業者等、幅広い産業も取り入れ、観光は羅臼経済を牽引する総合的産業として取り組まなければならないと認識する。町長の考え方と今後の観光行政の方向性を示して下さい。

- (三)北海道観光審議会は、五ヶ年の観光指針となる素案の計画目標を公表した。
- ①自然環境、地域資源を生かした滞在型観光
- ②地域と経済の活性化
- ③国内外の効果的な誘客活動

二点目は関係団体の協力を頂きながら、更なる整備と道内外の学校や団体にPR活動と誘致活動を積極的に進めていく事により、滞在型観光へ結びつけ、地域産業の発展に繋がる事を期待しているところであります。

三点目は、観光協会や関係団体と連携・協力しながら



うに種苗センター（修学旅行生見学）

行政の考えを問う

第4回定例議会・一般質問

高島 讓二議員



防災について再検討すべき

高島議員

避難路設置の要望と避難計画を策定する

町長

質問
先々月十月の台風二十六号の豪雨により、伊豆大島では土砂災害が発生し、三十六名の人命が失われ、四名の方々が行方不明、七十一戸が全壊し、併せて二百三戸の人家が被害を受ける大災害が発生しました。台風二十六号についての進路や規模の大きさは気象庁が

予報していたが、大島町長、副町長が出張で島を離れていた。役場内では第一次非常体制をとりながらまた、大災害を予測した大島警察署の避難勧告要請にもかかわらず、何もしなかった不作為の責任が問われました。

(七)計画中の中学校の防災機能の内容について

脇町長

大島町長は記者会見で「想定外という言葉は使いたくない。認識が甘かったという指摘は甘んじて受けると釈明しております。この事を教訓として我が町の防災に対する認識、対策を今一度、確認、再検討すべきと思います。」

(一)北海道が定めた基準値は北浜ゲートから以北は八十ミリ、共栄町ゲートからを百二十ミリと設定している。当日、北海道より役場に通行止めの連絡が入り、役場防災担当が登庁後、通行止めを確認し、防災無線放送、エリアメールを配信した。

(二)設置基準は、「風水害の場合」①被害の拡大が予想されるとき②複数地域で自主避難、避難勧告、

(三)関係機関からの情報により防災無線、エリアメールを利用し情報を伝える。
(四)先日の道議会において、知事は海岸沿いで近くに山が迫る避難困難地域に治山施設への避難路の設置を来年度より進めていくという考えを示した。
(五)設置を要望し、各町内会と連携をとりながら避難路の確保と避難計画を策定する。備蓄品については食料品が八十%、備品が七十%の充足率となっている。

(一)十月に道々八十七号線が通行止めとなった雨量と、経過について

(二)災害対策本部の設置時期、伝達指揮系統について

(三)住民への情報伝達、勧告指示について

対応が必要なとき「地震・津波」の場合①震度五強

四各地域の避難路と備蓄品について

津波」警報が発表されたとき③町内に大規模な被害が発生したときまたは

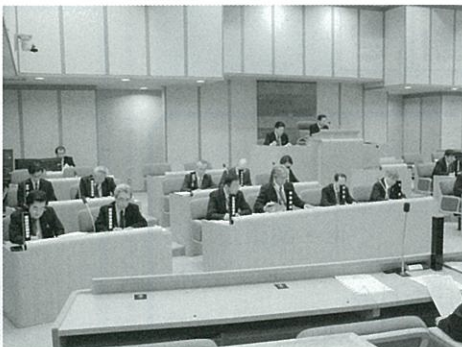
(五)防災計画の見直しと避難計画策定について

発生するおそれがあるとき「雪害」の場合は被害

(六)災害を想定した実践に即した防災訓練の実施

が大規模なとき

(六)災害に対する警戒心の高揚と避難場所の確保、緊急体制の確立を図ることが目的。年に一度のことであり、避難場所の再確認のうえからも皆様に参加して頂きたい。
(七)基本的には災害備蓄品の備蓄庫と避難場所としても使用できる複合施設と考えているが町民の皆様のご意見も頂き進めて行く。



田中 良議員



基幹産業である漁業施策について

漁港等の整備が必要。また増養殖事業について支援していく。

質問

田中議員

町長

基幹産業であるところの漁業施策について

(一) 町内にある漁港の中で、老朽化している漁港の整備について
(二) 増養殖事業について新しい施策は考えているのか

脇町長

一点目は、町内にある羅臼漁港は国が直轄で整備する第四種漁港で、残りの六港については道が整備する第一種・第二種となっている。羅臼漁港の整備については衛生管理施設整備が平成二十四年度に完成し、中央ふ頭耐震岸壁の整備が実施されています。今後の計画としては西防波堤周辺の整備又、観光や教育など漁業以外の活用に備え、トイレ等の整備が必要と思われることから、漁協をはじめ各種団体の意見を聞きながら進めて参りたいと考えている。羅臼漁港以外の整備補修につきましては漁業者が安心して使用できるよう、北海道に対して要望して参ります。

二点目は、主要魚種のホッケやスケトウダラは減少傾向にあり、イカの豊漁はあるものの、資源と漁獲が不安定な状況にあることに加え、魚価も不安定な状況に置かれております。このこ

とから新たな資源を活用し、新たな産業を興し雇用の創出を図る方法として増養殖事業が考えられます。新たな増養殖事業についての必要性は十分認識しておりますが、実用化には多くの課題があり、現状では難しい状況となっております。しかし漁協で行っている「ウニ」「なまこ」「真ガレイ」等の増養殖事業について、資源の安定的な増産が図れるよう町としても支援して参りたい。

新設の中学校について

田中議員

町長

平成26年度から新中学校建設に向けてスタートする

質問

新設を考えている中学校について

(一) 耐力度調査を施行後、建設までの工程はどのように考えているか

(二) 町民の思いなどを取り入れる方法はどのように考えているのか

脇町長

平成二十六年年度から二十九年年度までの期間で校名・校歌・校章・制服などを新たにする中学校建設に向けてスタートすることになります。今後は、統合に向けた作業が必要となり各校PTAをはじめ関係団体とも連携しながら、当然、児童・生徒・保護者・学校関係者・地域の思いや要望等を取り入れながら、限られた財源でできる限りの良い施設となるよう進めて参りたい。

田中議員のその他の質問

・産業活性化推進の施策と事業効果等の検証に関して

議会の動き

10月

- 7日 羅臼町行政懇談会 議長
- 12日 平成25年度根室町村議会議長会主催議員研修会
(別海町) 正・副議長ほか
- 13日 第23回クナシリ眺望駅伝競走大会 議長
- 15日 総務民生・経済文教合同常任委員会
- 15日～18日 東京丸の内「知床・羅臼祭」(東京都) 議長
- 16日 第1回決算特別委員会
- 21日 第2回決算特別委員会
- 22日 平成25年度根室地方林活議連研修会(根室市) 3名
- 23日 第3回決算特別委員会
- 24日 第4回決算特別委員会
- 25日 羅臼町商工会長来庁(要望) 議長
- 31日 総務民生・経済文教合同常任委員会

11月

- 2日～4日 世田谷区千歳船橋との北方領土協働啓発事業
(東京都) 議長
- 7日 平成25年度羅臼町表彰式 議長
- 9日 羅臼町女性団体連絡協議会創立50周年式典 議長
- 11日 第5回決算特別委員会(総括質疑)
議会運営委員会・総務民生・経済文教合同常任委員会
- 12日～15日 第57回町村議会議長全国大会(東京都) 議長
- 18日 第2回臨時町議会
北海道議会北方領土対策特別委員会意見交換会 議長
- 20日 道東勤医協労働組合役員来庁
- 26日～27日 北海道町村議会議員公務災害補償等組合議会
第2回臨時会(札幌市) 議長
- 30日～12月3日 北方領土返還要求中央アピール行動及び
政府要請(東京都) 議長

12月

- 5日 議会運営委員会
- 6日 根室北部消防事務組合議会(中標津町)
正・副議長ほか
根室北部廃棄物処理広域連合議会(中標津町)
正・副議長ほか
根室北部衛生組合議会(中標津町) 正・副議長ほか
- 9日 経済文教常任委員会
- 10日 総務民生常任委員会
- 11日 議会運営委員会
- 12日 全員協議会・第4回定例町議会・議会運営委員会
- 18日 議会だより編集特別委員会
- 25日 根室町村議会議長会第1回臨時総会(中標津町)
正・副議長
羅臼町行政懇談会 議長

1月

- 4日 平成26年羅臼消防団出初式 議長
- 7日 平成26年羅臼町成人式 議長
- 15・20日 議会だより編集特別委員会



元羅臼町議会議員 山下 松氏に
旭日双光章が授与されました

平成二十五年秋の叙勲に
おきまして、羅臼町議会議
員として永年議会の円滑な
運営と地域産業の振興に貢
献した功績により旭日双光
章が授与されました。
おめでとうございます。

自治功労者表彰受賞!



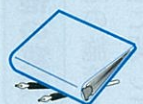
小野 哲也議員



坂本 志郎議員

十月十二日、別
海町で行われた議
長会主催の議員研
修会に於いて、十
年以上議会議員の
職にあたる者とし
て、坂本志郎議員
と小野哲也議員の
二名が自治功労者
表彰を受けました。

編集を
終えて



謹んで新年の御祝詞を申し上
げます。
お健やかに新春をお迎えの
こととお慶び申し上げます。
皆様のご健康とご多幸を心か
らお祈り申し上げます。
今年もどうぞよろしくお願
い致します。

田中
良